

運用報告書 (全体版)

第2期<決算日2019年4月25日>

ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2027年4月26日まで	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象とします。	
主要運用対象	当ファンド	投資信託証券。
	ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラスト -ダブルライン・シラー・ エンハンス・ケープ・ サブファンド 日本短期公社債 マザーファンド	国債や社債、証券化商品を含む様々な債券。また実質的な株式への投資手段としてトータル・リターン・スワップを活用します。 本邦通貨建ての公社債。
組入制限	当ファンド	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
	日本短期公社債 マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>」は、2019年4月25日に第2期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500 (配当込み、円換算)		債券組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	騰落率	騰落率			
(設定日) 2017年4月28日	円 10,000	円 -	% -	511,158.86	% -	% -	% -	百万円 1,170
1期 (2018年4月25日)	10,377	0	3.8	562,484.97	10.0	-	98.0	4,358
2期 (2019年4月25日)	12,202	0	17.6	657,515.05	16.9	-	97.4	2,863

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラストーダブルライン・シラー・エンハンスト・ケープ・サブファンドが組み入れた比率は含まれておりません。

※S&P500(配当込み、円換算)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※同指数は、S&P500(配当込み)をアセットマネジメントOneが円換算したものです。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

※S&P500(配当込み)は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P500(配当込み)のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

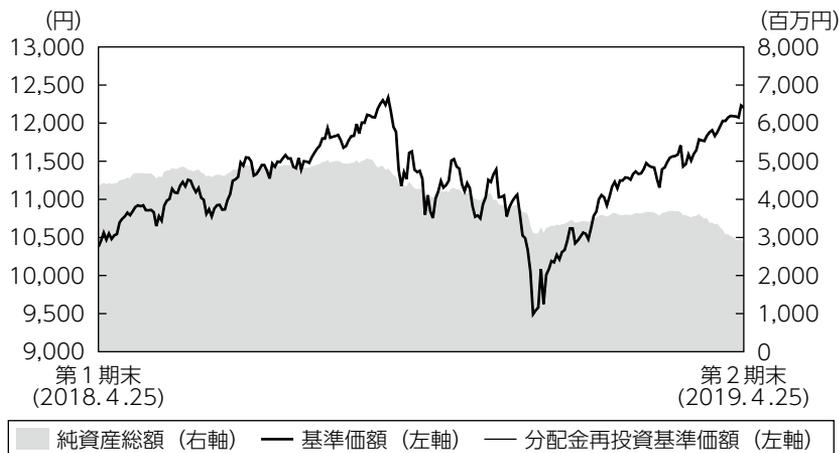
年月日	基準価額		S & P 500 (配当込み、円換算)		債券組入比率	投資信託 証券組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2018年4月25日	円 10,377	% -	562,484.97	% -	% -	% 98.0
4月末	10,562	1.8	571,857.85	1.7	-	98.0
5月末	10,778	3.9	581,953.71	3.5	-	98.3
6月末	10,881	4.9	590,995.48	5.1	-	97.8
7月末	11,273	8.6	613,087.14	9.0	-	98.3
8月末	11,809	13.8	636,312.72	13.1	-	98.7
9月末	12,188	17.5	654,528.90	16.4	-	98.5
10月末	11,009	6.1	601,599.74	7.0	-	97.6
11月末	11,227	8.2	616,538.11	9.6	-	93.4
12月末	10,086	△ 2.8	549,110.34	△ 2.4	-	97.1
2019年1月末	10,620	2.3	581,475.94	3.4	-	97.4
2月末	11,340	9.3	617,609.10	9.8	-	97.5
3月末	11,594	11.7	624,465.26	11.0	-	98.2
(期末) 2019年4月25日	12,202	17.6	657,515.05	16.9	-	97.4

※騰落率は期首比。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラストーダブルライン・シラー・エンハンスト・ケープ・サブファンドが組み入れた比率は含まれておりません。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第2期首：10,377円
 第2期末：12,202円
 (既払分配金0円)
 騰落率：17.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラスト・ダブルライン・シラー・エンハスト・ケープ・サブファンド（以下、「ダブルライン・ファンド」という場合があります。）等への投資を通じて米国株式ならびに債券を中心に投資を行いました。上記の運用の結果、米国株式の上昇、円安米ドル高などを背景に基準価額は上昇しました。

【主な上昇要因】

- ・米国株式市場の堅調な推移
- ・円安米ドル高
- ・債券投資における利息収入等

【主な下落要因】

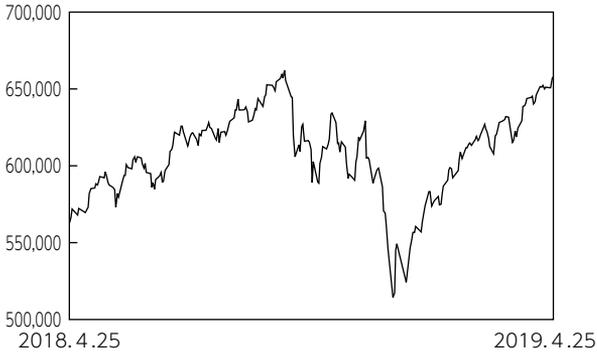
- ・特になし

投資環境

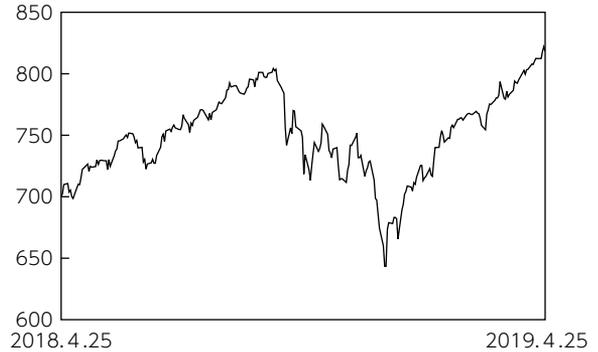
● 米国株式市場

世界的な景気の減速懸念などを受けて一時大きく下落する場面もありましたが、米国の追加利上げ観測の後退や、米中間の貿易問題に対する楽観的な見方を背景に上昇しました。セクター別では、決算発表や景気に対する過度な警戒感の後退などを背景にテクノロジーの上昇が目立った一方、商品価格の伸び悩みなどを受けてエネルギーセクターが冴えない展開となりました。

S&P500（配当込み、円換算）の推移



シラー・パークレイズ・ケープ米国セクター指数（米ドルベース）の推移

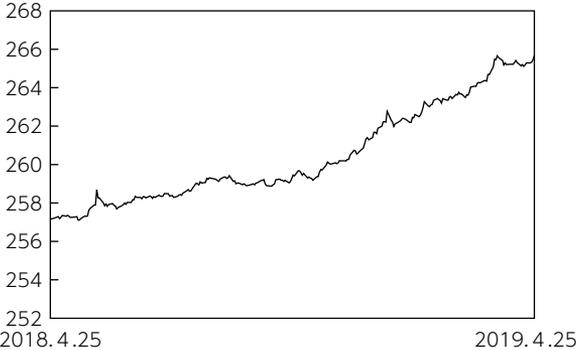


※パークレイズ・バンク・ピーエルシー及びその関連会社（以下「パークレイズ」と総称します。）は、ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>（以下「本ファンド」といいます。）の発行者又は作成者ではなく、パークレイズは、本ファンドの投資家に対して何ら責任又は義務を負いません。シラー・パークレイズ・ケープ米国セクター指数（以下「本指数」といいます。）はパークレイズ・バンク・ピーエルシーの所有する商標であり、本ファンドによる使用のためにライセンスが付与されています。本ファンドは本指数について又は本指数に関連してパークレイズと取引をする場合がありますが、本ファンドの投資家は本ファンドに対する利益のみ取得し、投資家は、本ファンドへの投資にあたって、本指数に対するいかなる利益も取得せず、また、パークレイズとの間でいかなる種類の関係も取得しません。本ファンドはパークレイズによって出資、承認又は販売促進されておらず、パークレイズは、本ファンドの推奨度又は本指数若しくは本指数に含まれるいかなる情報の使用に関して何らの表明も行いません。パークレイズは、本指数又は本指数に含まれるいかなる情報の使用又は正確性に関して、本ファンド、投資家の皆様又はその他の第三者に対して、何らの責任も負わないものとします。シラー・パークレイズ・ケープ米国指数ファミリー（以下「本指数ファミリー」といいます。）は、その一部につき、RSBB-I, LLC（主たる研究者はロバート・J・シラー氏）により開発されています。RSBB-I, LLCは、投資助言業者ではなく、本指数ファミリー又は本指数ファミリーに含まれる若しくは本指数ファミリーが依拠するいかなる情報若しくは手法の正確性及び完全性についても保証しません。RSBB-I, LLCは、本指数ファミリーのいかなる誤り、欠落又は障害についても責任を負わないものとし、本指数ファミリーに含まれる又は本指数ファミリーが依拠する情報の使用によりいかなる当事者に生じた運用実績又は結果についても、明示又は黙示を問わず、何らの表明も行わず、それらについての全ての商品性又は特定の目的に適合していることの保証を明示的に否認します。また、RSBB-I, LLCは、当該情報の使用に関連するいかなる性質の請求又は損害（逸失利益、懲罰的損害又は間接的な損害を含みますが、それらに限られません。）について、仮に当該請求又は損害の可能性についてRSBB-I, LLCが知っていた場合であっても、責任を負わないものとします。

● 米国債券市場

米国の景気動向や金融政策の方向性を受けて、利上げの影響から超短期ゾーンが軟調となった一方で、先行きの利上げ観測が大きく後退したことから中長期ゾーンでは堅調となりました。当期中、米国では2018年中は米国景気の堅調さから複数回利上げが行われましたが、2019年に向かうにつれ、徐々に景気の先行き不透明感が強まりました。こうしたことから、FRB（米国連邦準備制度理事会）は、先行きの利上げに対して消極的な姿勢を示しています。

ブルームバーグ・パークレイズ米国総合1-3年指数（米ドルベース）の推移

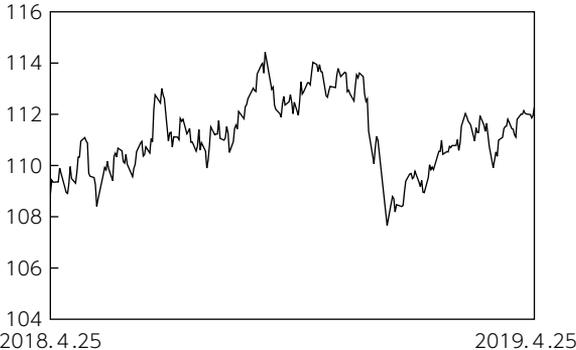


※ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

● 為替市場

世界的な景気の減速懸念などを受けたリスク回避の動きから一時大きく円高となる場面もありましたが、2019年における米国の追加利上げの可能性が大きく後退し、リスク選好の流れとなったほか、米国の経済指標が底堅い結果となったことなどから円安に転じました。

米ドルの対円レートの推移



●国内短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは、一時マイナス幅を深める場面もある中、日銀の短期国債の買い入れ姿勢や海外勢の需要などを受けて、マイナス圏で推移しました。

■ポートフォリオについて

●当ファンド

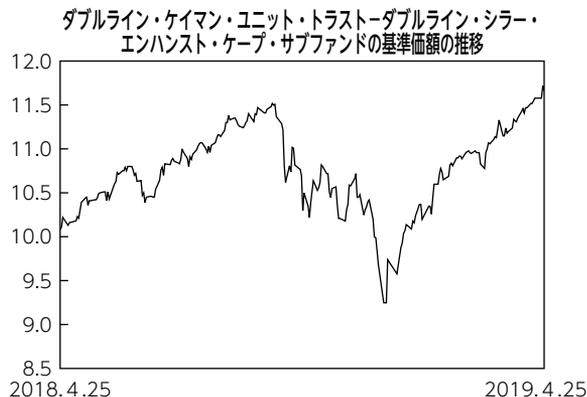
ダブルライン・ファンドへの投資配分については、当期を通して高位としました。また、日本短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

●ダブルライン・ファンド

ダブルライン・ファンドでは、トータル・リターン・スワップを活用することでロバート・シラー氏の理論を基に開発されたシラー・バークレイズ・ケープ米国セクター指数に概ね連動する投資成果の獲得を図る一方、米ドル建ての債券をはじめグローバルの様々な債券への投資から得られる投資成果の確保を目指して運用を行いました。株式部分においてはトータル・リターン・スワップを活用し、期末時点ではコミュニケーション・サービス、生活必需品、エネルギー、情報技術セクターに投資しています。債券部分では米国国債、社債、資産担保証券など様々な債券を保有しております。

●日本短期公社債マザーファンド

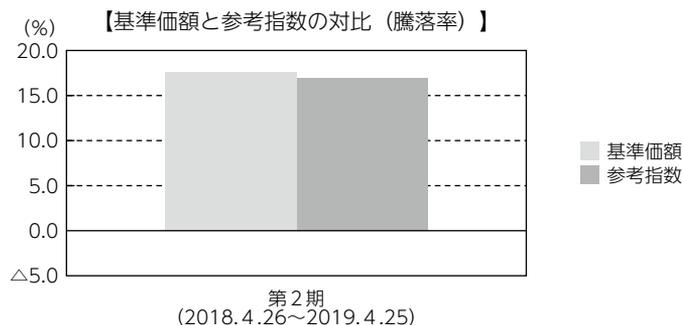
主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指す運用方針を維持しましたが、マイナス利回りの債券については投資を見送りました。期末時点の債券組入比率は0%となっています。



※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万円当たり）

項目	第2期
	2018年4月26日 ～2019年4月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,201円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

米国経済は、引き続き底堅い景気動向が見込まれますが、欧州の景況感指数が悪化するなど、世界景気の先行きには注視する必要があります。米国市場の堅調さは、経済指標が比較的良好であることが一部寄与していると考えられ、世界的な景気の悪化が顕在化するにつれ、リスク資産の値動きが荒くなる可能性があると考えています。引き続き市場動向に注視しながら保守的な運用を実施していく方針です。

●当ファンド

ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>では、資金動向や市場動向に留意し、引き続きダブルライン・ファンドの高位組み入れならびに日本短期公社債マザーファンドへの投資を継続する方針です。

●ダブルライン・ファンド

上記市場見通しの下、株式部分に関しては、引き続きトータル・リターン・スワップを活用することでシラー・バークレイズ・ケープ米国セクター指数に概ね連動する投資成果の獲得を図る方針です。債券部分に関しては、米ドル建ての債券をはじめグローバルの様々な債券の中から、魅力的な債券に適切なタイミングで厳選投資を行い、投資成果の確保を目指す方針です。

●日本短期公社債マザーファンド

金利水準等に注視しながらわが国の短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年4月26日 ～2019年4月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	136円	1.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,113円です。
(投信会社)	(42)	(0.378)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(90)	(0.810)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.032)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	136	1.224	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

(2018年4月26日～2019年4月25日)

投資信託証券

銘		柄	買 付		売 付	
			□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	アメリカ	ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラスト-ダブルライン・シラー・エンハンスト・ケープ・サブファンド	□ 134,578	千米ドル 1,420	□ 1,807,971	千米ドル 19,260

※金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月26日～2019年4月25日)

利害関係人との取引状況

<ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為 替 直 物 取 引	百万円 -	% -	百万円 2,318	百万円 301	% 13.0	

<日本短期公社債マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、みずほ銀行です。

○組入資産の明細

(2019年4月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	当 期 末				
		□ 数	□ 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		□	□	千米ドル	千円	%
	ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラスト・ダブルライン・シラー・エンハンスド・ケープ・サブファンド	3,892,139	2,218,747	24,849	2,790,154	97.4
	合 計	3,892,139	2,218,747	24,849	2,790,154	97.4

※邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※金額は、単位未満を切り捨ててあります。比率は、小数第2位を四捨五入しています。なお、合計は、切り捨て・四捨五入の関係で合わない場合があります。

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末		
		□ 数	□ 数	評 価 額
		千□	千□	千円
	日本短期公社債マザーファンド	2,485	2,485	2,496

親投資信託の決算日における組入資産の明細につきまして、後述の親投資信託の「運用報告書」に記載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,790,154	% 91.2
日 本 短 期 公 社 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	2,496	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	265,083	8.7
投 資 信 託 財 産 総 額	3,057,733	100.0

※外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年4月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=112.28円です。

※外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、94.6% (2,891,206千円) です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,158,449,639円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	164,030,182
投 資 信 託 受 益 証 券 (評 価 額)	2,790,154,885
日 本 短 期 公 社 債 マ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	2,496,272
未 収 入 金	201,768,300
(B) 負 債	295,146,353
未 払 金	101,043,000
未 払 解 約 金	171,928,450
未 払 信 託 報 酬	22,100,263
未 払 利 息	380
そ の 他 未 払 費 用	74,260
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	2,863,303,286
元 本	2,346,590,242
次 期 繰 越 損 益 金	516,713,044
(D) 受 益 権 総 口 数	2,346,590,242口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	12,202円

○損益の状況 (2018年4月26日～2019年4月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	118,780,322円
受 取 配 当 金	118,662,158
支 払 利 息	118,164
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	345,144,315
売 買 益	485,117,627
売 買 損	△139,973,312
(C) 信 託 報 酬 等	△ 51,271,634
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	412,653,003
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 75,518,906
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	179,578,947
(配 当 等 相 当 額)	(25,893,934)
(売 買 損 益 相 当 額)	(153,685,013)
(G) 計 (D+E+F)	516,713,044
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	516,713,044
追 加 信 託 差 損 益 金	179,578,947
(配 当 等 相 当 額)	(25,893,933)
(売 買 損 益 相 当 額)	(153,685,014)
分 配 準 備 積 立 金	337,134,097

- ・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項

- ・信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額
 期首元本額 4,200,169,491円
 期中追加設定元本額 353,005,610円
 期中一部解約元本額 2,206,584,859円
- ・分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (105,653,462円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (131,647,721円)、信託約款に定める収益調整金 (179,578,947円) 及び分配準備積立金 (99,832,914円) より分配対象収益は516,713,044円 (1万口当たり2,201.94円) であります。分配を行っておりません。

○分配金のお知らせ

分配金の支払いはございません。

ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラストー ダブルライン・シラー・エンハンスト・ケープ・サブファンド

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／米ドル建受益証券
運用方針	S&P500種株価指数を上回る収益の獲得を目指します。
投資対象	国債や社債、証券化商品を含む様々な債券を主要投資対象とします。また実質的な株式への投資手段としてトータル・リターン・スワップを活用します。
投資態度	<ul style="list-style-type: none"> トータル・リターン・スワップを活用することで、シラー・バークレイズ・ケープ米国セクター指数に連動した投資成果の享受を図ります。 上記に加えて、様々な債券（国債や社債、証券化商品等）に投資し、経済環境や市場動向を勘案した債券種別アロケーションや個別銘柄選定等を実施することで、追加的な収益の確保を目指します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 債券ポートフォリオの実質デュレーションは原則として1～8年の間とします。 同一発行体による有価証券の投資は、原則として純資産総額の10%以内とします。 純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 有価証券の空売りは行いません。
決算日	毎年5月31日
主要関係法人	<p>受託会社：ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド</p> <p>投資顧問会社：ダブルライン・オルタナティブズ・エル・ピー</p> <p>副投資顧問会社：ダブルライン・キャピタル・エル・ピー</p> <p>管理事務代行会社兼保管銀行：ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー</p>
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.665%程度</p> <p>ただし、当該外国投資信託の信託報酬には、年間最低報酬額が定められている場合があり、純資産総額等によっては年率換算で上記の信託報酬率を上回る場合があります。</p>
その他の費用・手数料	<p>信託財産に関する租税、組入資産の売買時の売買手数料、デリバティブ取引等に要する費用、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、法律関係の費用、資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息などを負担する場合があります。また、ファンドの設立に係る費用はファンドが負担します。</p>
収益分配方針	原則として、年2回の収益分配を行います。
設定日	2017年5月1日

(1) 損益計算書

2017年5月1日（運用の開始）から2018年5月31日までの期間
 (米ドル表示)

	米ドル
投資収益	
受取利息	551,284
投資収益合計	<u>551,284</u>
費用	
投資運用報酬	160,108
設立費用	73,205
会計処理・管理事務手数料	55,418
専門家報酬	52,631
保管手数料	30,812
証券代行手数料	14,702
信託報酬	10,001
登録手数料	2,236
雑費	9,945
費用合計	<u>409,058</u>
費用償還	<u>(186,168)</u>
純費用	<u>222,890</u>
投資純収益	<u>328,394</u>
実現および未実現純利益（損失）：	
実現利益（損失）：	
投資有価証券	(46,031)
スワップ契約	562,837
実現純利益	<u>516,806</u>
未実現評価益（損）の純変動：	
投資有価証券	(180,930)
スワップ契約	405,420
未実現評価益の純変動	<u>224,490</u>
実現および未実現純利益	<u>741,296</u>
運用による純資産の純増額	<u>1,069,690</u>

(2) 投資有価証券明細

2018年5月31日現在

元本	銘柄	公正価値 米ドル
	確定利付証券 (70.0%)	
	資産担保証券 (13.1%)	
421,882	CLUB Credit Trust Series 2017-NP1 Class B 3.17% due 04/17/2023 (a),(b)	421,868
216,712	CLUB Credit Trust Series 2018-NP1 Class A 2.99% due 05/15/2024 (a),(b)	216,672
359,075	Earnest Student Loan Program Series 2017-A LLC Class A2 2.65% due 01/25/2041 (a),(b)	351,354
750,000	Global SC Finance IV Ltd. Series 2018-1A Class A 4.29% due 05/17/2038 (a)	761,517
500,000	Hardee's Funding Series 2018-1A LLC Class AI 4.25% due 06/20/2048 (a)	505,074
100,000	Invitation Homes Series 2018-SFR1 Trust Class C 3.19% due 03/17/2037 (a),(c)	100,982
100,000	Invitation Homes Series 2018-SFR1 Trust Class D 3.39% due 03/17/2037 (a),(c)	100,798
297,750	Jimmy Johns Funding Series 2017-1A LLC Class A2II 4.85% due 07/30/2047 (a),(b)	301,775
1,000,000	Lendmark Funding Trust Series 2017-1A Class A 2.83% due 12/22/2025 (a),(b)	991,419
464,509	Prosper Marketplace Issuance Trust Series 2018-1A Class A 3.11% due 06/17/2024 (a),(b)	464,795
406,085	Sofi Consumer Loan Program Series 2018-1 Trust Class A1 2.55% due 02/25/2027 (a),(b)	404,617
468,891	Sofi Consumer Loan Program Series 2018-2 Trust Class A1 2.93% due 04/26/2027 (a),(b)	469,032
300,000	SoFi Professional Loan Program Series 2017-D LLC Class BFX 3.61% due 09/25/2040 (a),(b)	294,118
451,261	Textainer Marine Containers V Ltd. Series 2017-1A Class A 3.72% due 05/20/2042 (a),(b)	450,081
500,000	Upstart Securitization Trust 2018-1 Class A 3.02% due 08/20/2025 (a),(b)	500,310
	資産担保証券合計	<u>6,334,412</u>
	米国社債 (39.2%)	
	航空宇宙および防衛産業 (2.4%)	
190,000	Delta Air Lines, Inc. 3.40% due 04/19/2021	190,371
375,000	General Dynamics Corp. 3.00% due 05/11/2021	374,255
575,000	Northrop Grumman Corp. 2.08% due 10/15/2020	562,861
	航空宇宙および防衛産業合計	<u>1,127,487</u>
	自動車 (2.1%)	
150,000	Daimler Finance North America LLC 2.25% due 03/02/2020 (a)	148,096
350,000	General Motors Financial Co., Inc. 2.30% due 02/12/2021 (a)	341,328
115,000	General Motors Financial Co., Inc. 2.65% due 04/13/2020	113,978

ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラストーダブルライン・シラー・エンハンスト・ケープ・サブファンド

元本	銘柄	公正価値 米ドル
445,000	3.20% due 07/06/2021 (b) 自動車合計	440,916
	銀行 (11.2%) Bank of America Corp.	1,044,318
290,000	2.81% due 03/05/2024 (b),(c) BNP Paribas S.A.	289,767
260,000	5.00% due 01/15/2021 Capital One Financial Corp.	271,801
460,000	2.40% due 10/30/2020 (b) Citigroup, Inc.	450,696
565,000	3.37% due 06/01/2024 (b),(c) Goldman Sachs Group, Inc.	566,009
645,000	2.30% due 12/13/2019 (b) JPMorgan Chase & Co.	639,538
565,000	2.25% due 01/23/2020 (b) Morgan Stanley	558,757
555,000	3.29% due 07/22/2022 (b),(c) PNC Financial Services Group, Inc.	560,653
490,000	4.38% due 08/11/2020 Royal Bank of Canada	503,568
385,000	3.20% due 04/30/2021 Sumitomo Mitsui Financial Group, Inc.	385,766
675,000	2.06% due 07/14/2021 Westpac Banking Corp.	649,420
570,000	1.60% due 08/19/2019 銀行合計	562,387
	飲料およびたばこ (1.2%) BAT Capital Corp.	5,438,362
505,000	2.30% due 08/14/2020 (a) Reynolds American, Inc.	495,073
80,000	3.25% due 06/12/2020 飲料およびたばこ合計	80,083
	化学/プラスチック (1.2%) Sherwin-Williams Co.	575,156
590,000	2.25% due 05/15/2020 化学/プラスチック合計	581,488
	消費財 (1.2%) Newell Brands, Inc.	581,488
570,000	3.15% due 04/01/2021 (b) 消費財合計	565,115
	エネルギー (0.2%) Kinder Morgan, Inc.	565,115
115,000	3.05% due 12/01/2019 (b) エネルギー合計	115,051
	金融 (1.2%) Air Lease Corp.	115,051
580,000	2.50% due 03/01/2021 金融合計	567,739
	食品 (1.7%) General Mills, Inc.	567,739
565,000	3.20% due 04/16/2021	564,230

ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラストーダブルライン・シラー・エンハンスト・ケープ・サブファンド

元本	銘柄	公正価値 米ドル
75,000	Molson Coors Brewing Co. 1.45% due 07/15/2019	73,809
190,000	Mondelez International, Inc. 3.00% due 05/07/2020	190,170
	食品合計	828,209
	食品／薬品小売業 (1.1%)	
515,000	Kroger Co. 6.15% due 01/15/2020	540,552
	食品／薬品小売業合計	540,552
	ヘルスケア (4.3%)	
561,000	Anthem, Inc. 2.50% due 11/21/2020	552,861
520,000	Cardinal Health, Inc. 1.95% due 06/14/2019	515,845
515,000	CVS Health Corp. 2.80% due 07/20/2020 (b)	511,600
545,000	Thermo Fisher Scientific, Inc. 3.60% due 08/15/2021 (b)	549,432
	ヘルスケア合計	2,129,738
	産業機器 (1.2%)	
575,000	Cintas Corp. 2.90% due 04/01/2022 (b)	565,133
	産業機器合計	565,133
	保険 (1.3%)	
600,000	Prudential Financial, Inc. 7.38% due 06/15/2019	627,640
	保険合計	627,640
	医薬品 (2.9%)	
135,000	Amgen, Inc. 2.20% due 05/11/2020	133,209
585,000	AstraZeneca PLC 2.38% due 11/16/2020	575,294
665,000	Celgene Corp. 2.88% due 08/15/2020	661,100
	医薬品合計	1,369,603
	パルプおよび紙 (1.0%)	
520,000	Packaging Corp. of America 2.45% due 12/15/2020	511,359
	パルプおよび紙合計	511,359
	テクノロジー (1.6%)	
390,000	Analog Devices, Inc. 2.95% due 01/12/2021	388,773
375,000	Microchip Technology, Inc. 3.92% due 06/01/2021 (a)	377,162
	テクノロジー合計	765,935
	電気通信 (2.0%)	
495,000	AT&T, Inc. 2.80% due 02/17/2021 (b)	489,200
115,000	Orange S.A. 2.75% due 02/06/2019	115,089

ダブルライン・ケイマン・ユニット・トラストーダブルライン・シラー・エンハンスト・ケープ・サブファンド

元本	銘柄	公正価値 米ドル
375,000	Verizon Communications, Inc. 3.44% due 05/15/2025 (b),(c) 電気通信合計	375,219
	公益事業 (1.4%)	979,508
35,000	American Electric Power Co., Inc. 2.15% due 11/13/2020	34,263
250,000	Consolidated Edison, Inc. 2.00% due 03/15/2020	245,714
285,000	2.00% due 05/15/2021 (b) Southern California Edison Co.	275,703
95,000	1.85% due 07/01/2019 (b) 公益事業合計	94,004
	米国社債合計	649,684
	米国債および政府機関債 (17.7%)	18,982,077
1,853,135	U.S. Treasury Inflation Indexed Bond 0.13% due 04/15/2019	1,845,305
2,500,000	U.S. Treasury Note 1.50% due 12/31/2018	2,490,820
2,630,000	2.00% due 08/31/2021	2,581,664
1,680,000	2.13% due 09/30/2021 米国債および政府機関債合計	1,654,603
	確定利付証券合計 (取得原価34,069,845米ドル)	8,572,392
	短期投資 (28.3%)	33,888,881
	米国債および政府機関債 (25.5%)	
2,960,000	U.S. Treasury Bill 0.00% due 06/07/2018	2,959,242
1,880,000	0.00% due 07/19/2018	1,875,557
2,440,000	0.00% due 08/16/2018	2,430,483
1,880,000	0.00% due 09/20/2018	1,868,987
3,250,000	0.00% due 10/18/2018 米国債および政府機関債合計	3,225,468
	定期預金 (2.8%)	12,359,737
1,359,268	Citibank N.A. 1.00% due 06/01/2018	1,359,268
	定期預金合計	1,359,268
	短期投資合計 (取得原価13,718,971米ドル)	13,719,005
	投資合計 (取得原価47,788,816米ドル)	98.3 47,607,886
	現金およびその他資産の負債超過額	1.7 805,970
	純資産	100.0 48,413,856

(a)144A証券－1933年証券取引法144A規則に基づき登録を免除されている有価証券です。この証券は登録が免除された取引で、通常、適格機関投資家に転売されます。特に記載がない場合、この証券は流動性が低いとは見なされません。

(b)任意償還条項付証券です。

(c)変動利付証券です。2018年5月31日開示の利率です。

(3) トータル・リターン・スワップ残高

2018年5月31日現在 (純資産比率0.8%)

想定元本	支払／ 受取	調達 金利	参照指数	契約先	通貨	満期日	未実現評価益 (損)
							米ドル
15,000,000	受取	0.40%	シラー・パークレイズ・ ケープ米国セクターER II米ドル建指数*	Barclays Capital, Inc.	USD	06/29/2018	405,924
33,300,000	受取	0.40%	シラー・パークレイズ・ ケープ米国セクターER II米ドル建指数*	Barclays Capital, Inc.	USD	07/31/2018	(504)
							<u>405,420</u>

*シラー・パークレイズ・ケープ米国セクターER II米ドル建指数は、伝統的なケープ・レシオの修正版（「レラティブ・ケープ指標」）を用いて、米国株式セクターのうち比較的割安となっており、過去12カ月に比較的強いモメンタムを見せていた上位4位のセクターのロング・ポジションと同等の効果を達成することを目指しています。米国の各株式セクターは、主にそれぞれのセクターの企業の株式に投資するインデックスの形で組み入れられます。2018年5月31日現在、4セクター構成（カッコ内はそれぞれのインデックスの株式略称）と構成比は、以下の通りです。一般消費財セレクト・セクター指数 (IXYTR) 24.8%、テクノロジー・セレクト・セクター指数 (IXTTR) 25.4%、ヘルスケア・セレクト・セクター指数 (IXVTR) 24.6%、資本財セレクト・セクター指数 (IXITR) 25.2%。

通貨略語：

USD－米ドル

(ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー提供の財務書類より作成しております。)

日本短期公社債マザーファンド

第9期 運用報告書

(決算日 2018年7月3日)

『日本短期公社債マザーファンド』は、去る2018年7月3日に第9期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	親投資信託
信 託 期 間	原則、無期限です。
運 用 方 針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主 要 運 用 対 象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率			
7期 (2016年7月4日)	10,060	0.00	62.6	—	百万円 66
8期 (2017年7月3日)	10,056	△0.04	—	—	61
9期 (2018年7月3日)	10,050	△0.06	—	—	58

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

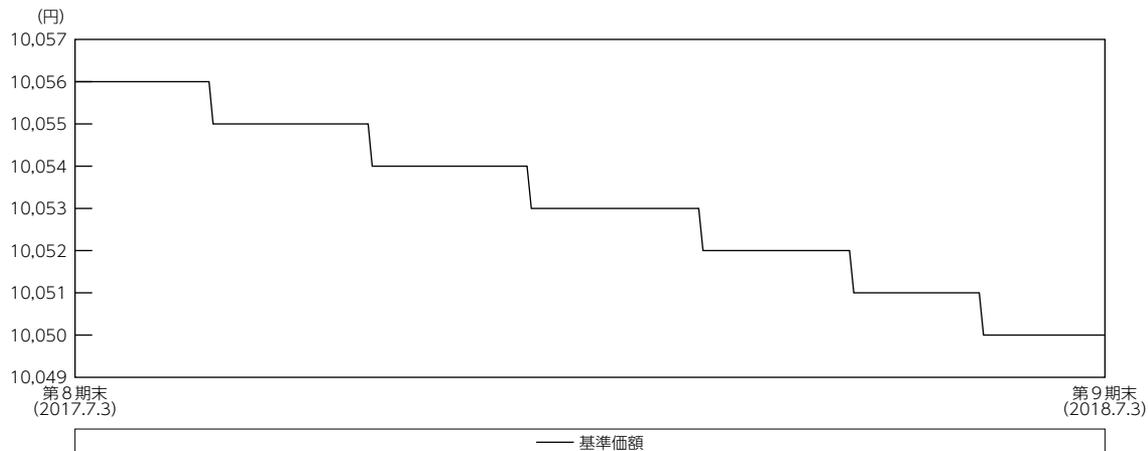
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債先物比率	債券率
	円	騰落率			
(期首) 2017年7月3日	10,056	—	—	—	—
7月末	10,056	0.00	—	—	—
8月末	10,055	△0.01	—	—	—
9月末	10,055	△0.01	—	—	—
10月末	10,054	△0.02	—	—	—
11月末	10,054	△0.02	—	—	—
12月末	10,053	△0.03	—	—	—
2018年1月末	10,053	△0.03	—	—	—
2月末	10,052	△0.04	—	—	—
3月末	10,052	△0.04	—	—	—
4月末	10,051	△0.05	—	—	—
5月末	10,050	△0.06	—	—	—
6月末	10,050	△0.06	—	—	—
(期末) 2018年7月3日	10,050	△0.06	—	—	—

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり期首10,056円から、10,050円に6円の値下がりとなりました。

投資環境

● 国内債券市場

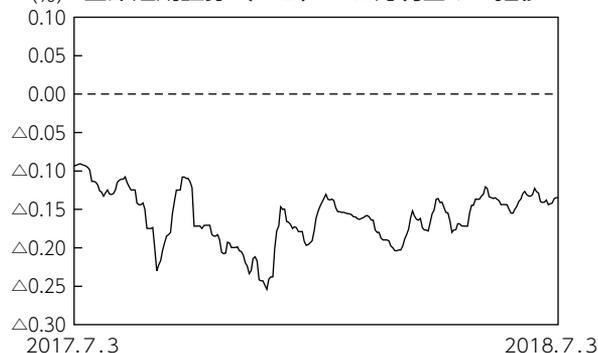
当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。

2018年4月には日銀黒田総裁の2期目がスタートしましたが、黒田総裁は1期目に続き積極的な緩和スタンスを続けていくことを表明しました。

長期間の緩和で債券市場のボラティリティは低下していますが、日銀の買いオペの金額の増減を受けて市場が動くことが多くなっています。

国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの推移



※国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

■ ポートフォリオについて

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。ファン
ドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み
入れはありません。

■ ベンチマークとの差異について

実質的に本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特
定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がな
いため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

よって、グラフは掲載しておりません。

今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっ
ては、目標とする運用ができない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月4日～2018年7月3日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年7月4日～2018年7月3日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月4日～2018年7月3日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年7月3日現在)

2018年7月3日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2018年7月3日現在)

項 目	当 期		末
	評 価	額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他		千円 58,809	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額		58,809	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月3日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	58,809,774円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	58,809,774
(B) 負 債	123
未 払 利 息	123
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	58,809,651
元 本	58,519,794
次 期 繰 越 損 益 金	289,857
(D) 受 益 権 総 口 数	58,519,794口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	10,050円

○損益の状況 (2017年7月4日～2018年7月3日)

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	△ 41,485円
支 払 利 息	△ 41,485
(B) 当 期 利 益 (A)	△ 41,485
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	346,550
(D) 解 約 差 損 益 金	△ 15,208
(E) 計 (B+C+D)	289,857
次 期 繰 越 損 益 金 (E)	289,857

・解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	61,501,902円
期中追加設定元本額	－円
期中一部解約元本額	2,982,108円
期末元本の内訳	
みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド	5,267,461円
短期ハイイールド債券ファンド (ヘッジあり)	995,620円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,905,959円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,922,043円
新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)	5,069,672円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,093,509円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	99,473円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,976,144円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	994,036円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	497,018円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	497,018円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	49,702円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	397,615円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	12,417円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	99,404円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	994,036円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	397,615円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	497,018円
新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	497,018円
新光バンクローン・ファンド (円ヘッジ型) 2015-09	2,982,108円
新光バンクローン・ファンド (円ヘッジ型) 2015-12	993,937円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	795,387円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,485,584円
合 計	58,519,794円